

# 千葉学習センター客員教員による

## 「ミニゼミ」 受講生募集！

「ミニゼミ」は放送授業や面接授業と違い、少人数で教員を囲みながら、各教員の専門分野をテーマに、発表、討論、実験、観察、課外活動など様々な学習スタイルで行われています。年齢や性別も異なる学生のみなさんが、指導教員のもと、共通のテーマを学びながら毎回楽しく活動しています。興味のあるテーマを学ぶとともに、他の学生や教員と交流していただくことも目的としていますので、試験や成績判定といったことはありません。

2023年度4月期は10のゼミで受講生を募集します。放送大学の学生であれば、どなたでも無料（一部ゼミは費用負担あり）で参加できますので、ご興味のある方は、是非お申込みください。なお、2020年度よりZOOMを利用した遠隔ゼミを実施するゼミがありますので、ご自宅等のネット環境等ご確認願います。

### 【参加申込方法】 4月8日(土)14時から申し込みを開始します。

- ① 「ミニゼミ参加申請書」(千葉学習センターウェブサイト・ロビーなどで配布)に必要な事項を記入のうえ、学習センター窓口もしくはメールにてご提出下さい。メールアドレスは [chibagaku\\_soumu@ouj.ac.jp](mailto:chibagaku_soumu@ouj.ac.jp) です。 ※原則先着順とし募集定員がオーバーした場合は、その時点で募集を修了します。また、電話、郵送等での受付は行いません。
- ② 申請書の提出後、学習センターより各講師へ申請書をお送りし、講師から受講の可否について回答があり次第、センターより結果および次回開催日時をご連絡します。

※掲載内容は、2023年4月8日現在のものです。今後、**定員に達した時点で募集を中止します。**

### 子どもを理解し、子どもに学ぶ (金子先生ゼミ)

○講師：金子 智栄子 (文京学院大学教授)

○募集定員：10名程度

○開催日時：原則として、月末の金曜日午後 初回開講日4月28日(金)13:00～ \*初回はオリエンテーションを含む

○内容：子どもは可愛いですが、それ以上に面白い存在です。特に年齢が低いほど見るものすべてが新鮮で、この世は発見に満ちています。よちよち歩きの赤ちゃんは、知的好奇心に満ち溢れたキラキラしたまなざしをもっています。そのようなまなざしを大人になっても持ち続けられたら、人生は幸せなことでしょう。乳幼児期の体験は、その後の発達にも大きな影響を与えます。そこで、乳幼児期からの子どもの発達について共に学び、子どもの素晴らしさを共有したいと思っています。さらに受講生ご自身の発達についても、振り返る機会にしたいと思っています。

○受講条件：初回開講時に、参加者から、今年度のゼミの内容についてご要望を伺います。状況によっては、ご相談のうえテキストを使用することがあります。

(ゼミは教室での対面を原則としますが、ZOOMを利用した遠隔で実施する場合があります。)

### 物理の世界を探索する(小堀先生ゼミ)

○講師：小堀 洋 (千葉大学名誉教授)

○募集定員：10名

○開催日時：原則として、月1回、主に土曜日あるいは日曜日

○内容：物理の知識で理解できるにも関わらず、意外に知られてないことが世の中に多く存在します。詳しい数式抜きでも理解できることが多いです。身の回りに溢れる不思議を、テーマごとに解説します。取り上げるテーマは、各回変わります。たとえば、低温現象では、以下のような現象と取り上げています。物質を室温より冷やすと、日常見慣れた性質が変化します。空気も液体になり、更に冷やすと、ミクロの世界を支配する量子現象が現れます。これらの現象の多くは、固体物理・化学の知識で理解することができます。しかし、未解決の問題も多く、新機能物質も次々と現れてきます。様々な測定手段の進歩によって、少しずつ理解が進んでおります。

○受講条件：受講条件は特にありません。ミニゼミでは、放送大学内の実験室を使い、簡単な工作、実験、観測も含めて学んでいきます。千葉

・筑波の大学・研究所の見学も予定しています。なお、学外での野外活動がありますので、参加ご希望の方は学生保険への加入が

必要です。(ゼミは教室での対面を原則としますが、ZOOMを利用した遠隔で実施する場合があります。)学外での野外活動があります

ので、参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。

## 保健の授業を学び直す(高橋先生ゼミ)

○講師：高橋浩之(千葉大学教育学部元教授)

○募集定員：10名程度

○開催日時：学生が集まりやすい曜日・時間で月2回程度開きたいと考えています。

○内容：皆さんの多くは「保健」を中学・高校で受けた退屈な授業と考えているでしょう。しかし、実際には、新たな感染症から最新のがん治療、性についての自己決定から高齢者の健康、心肺蘇生法から医者のかかり方など、面白い上に人生の基盤になる内容を保健は扱っているのです。このゼミでは、高校の教科書を題材にその背景やさらに深い知識、また、発展的な内容に関してみんなで学んで行きます。

○受講条件：大修館書店の高校保健体育教科書「現代高等保健体育」(保体701)を教材とします。定価は705円です。教科書特約店でのみ売っているため、面倒でしたら、こちらで代わりに購入します。古典文学や歴史に通じていなくても結構ですが、調べて発表してもらい、また議論しますので、興味関心を持っていることが大前提です。

## 薔薇学講座(御巫先生ゼミ)

○講師：御巫 由紀(千葉県立中央博物館 自然誌・歴史研究部 植物学研究科長)

○募集定員：10名程度

○開催日時：毎月第3土曜日13時~15時(4月は4月22日(土)13時~15時)

○内容：園芸植物として長い歴史を持つバラについて、植物学、歴史、美術等あらゆる面から、バラの魅力を解説する。

バラは西洋文化の象徴のように思われているが、約200年前にアジアのバラがヨーロッパに運ばれ、育種に用いられて初めて現代の栽培バラが誕生した。日本に16種類ある野ばらの見分け方、バラの育種において日本の野ばらが果たした役割、オールドローズとモダンローズの系統、日本のバラの歴史等について、教室での講義とバラ園の見学を合わせたゼミを行う。

<年間予定>

4月22日 薔薇学とは/日本のバラ園 @千葉県立中央博物館 5月20日 春のバラ園見学 @佐倉草ぶえの丘バラ園

6月24日 世界のバラ園 @千葉学習センター 7月15日 バラの植物学1 @千葉県立中央博物館

8月26日 バラの植物学2 @千葉県立中央博物館 9月16日 ルドゥーテのバラ @千葉学習センター

10月14日 秋のバラ園見学 @佐倉草ぶえの丘バラ園 11月11日 バラの歴史1 オールドローズ @千葉県立中央博物館

12月16日 バラの歴史2 モダンローズ @千葉県立中央博物館 1月20日 江戸時代のバラ1 @千葉県立中央博物館

2月17日 江戸時代のバラ2 @千葉県立中央博物館 3月16日 レポート発表会 @千葉学習センター

○受講条件：・野外実習を行うことがあるため、学生保険加入が必要

・『野ばらハンドブック』(文一総合出版)をテキストとして使用

・バラ園等でゼミを行う場合は入園料等が必要となる場合がある

## 地層の縞模様から読み解く大地の成り立ちと地球環境変動史(伊藤先生ゼミ)

○講師：伊藤 慎(千葉大学理学部元教授)

○募集定員：10名

○開催日時：原則として月1回、日時は土曜日13:00-15:00で実施する予定です。

4月23日(日)勝浦市鶴原での地層の観察(4月は諸事情で日曜日に野外で開催予定です。)

○内容：地層には様々な形、厚さ、長さ、高さなどを示す縞模様が観察されます。このような縞模様は「堆積構造」とよばれ、地層を構成する粒子が運搬され堆積するまでの一連のプロセスの特徴が記録されています。したがって、堆積構造の特徴から地層を形成した流れの種類、方向、速さや強さ、深さや厚さなどの特徴を解読することができます。さらに、堆積構造の特徴から、地層が形成された堆積環境の変遷やその要因を解読することができます。このゼミでは、講義や文献の輪読、さらには室内実験や野外観察などをとおして、「堆積構造」の特徴と形成プロセスの理解を深めるとともに、堆積構造から読み取れる大地の成り立ちや太古から現在に至る地球環境変動史の理解を目指します。

○受講条件：室内実験や地層の野外観察を行うため、学生保険の加入が必要となります。野外観察では、現地集合現地解散を原則として、千葉県内あるいは周辺地域の地層を主な観察対象とする予定です。ゼミの資料は適宜配付する予定ですが、以下の2冊を参考書とします。

(1) Geo ワールド 房総半島 楽しい地学の旅 mihorin 企画

(2) フィールドマニュアル 図説 堆積構造の世界 朝倉書店

室内実験や地層の野外観察を行うため、学生保険の加入が必要となります。

## 音環境文化ゼミ(音の風景(サウンドスケープ)から地域、環境、社会、日常を見る)(兼古先生ゼミ)

○講師：兼古 勝史（立教大学社会学部メディア社会学科兼任教員、日本サウンドスケープ協会会員・理事）

○募集定員：10名

○開催日時：未定（参加学生と調整の上）（第1学期は月2回程度原則火曜日午後の予定）原則月に2回程度、現在は参加者と協議の上、平日（第1学期は火曜日）や土日の午後などに実施。4月のみ変則的ですが4月15日（土）14時から 教員の研究室にて

○内容：Soundscape（音の風景・耳で捉えた風景）を切り口に、「音」「耳（聞くこと）」を通して、地域や環境、社会や日常について調べ、体験し、表現します。昨年度は「浅草」をフィールドに、浅草を描いた文学作品などの記述から「音の歴史」を調べ（音年表）、現地での音の観察（音地図づくり）、フィールドレコーディング（音の作品づくり）などを行いました（継続中）。今年度は、サウンドスケープについて学びつつ、音をテーマにした録音（映像）作品づくりを目指します。（12月の日本サウンドスケープ協会「音風景映像作品コンテスト」への作品提出を目指します）また、番外編として野外等のサウンドスケープの体験ツアー（日帰り）なども不定期（自由参加）で企画する予定です。

○受講条件：パソコンの基礎的知識があることが望ましい（初心者レベルでOK）。録音機材は数台用意していますが、可能ならばPCM録音機等（数千円程度〜）を各自が用意できることが望ましい（ゼミは教室での対面を原則としますが、ZOOMを利用した遠隔で実施する場合があります）※学外での野外活動がありますので、参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。

## ジェンダー・セクシュアリティを考える(片岡先生ゼミ)

○講師：片岡 洋子（千葉大学名誉教授）

○募集定員：10名程度

○開催日時：原則として木曜日ですが、受講生との話し合いで変更することも可能です。

○内容：ジェンダーとは、社会的・文化的につくられた性差のことですが、日本はジェンダー格差が世界ランキング120位であり、ジェンダー平等社会の実現が課題となっています。一方、セクシュアリティとは、性的アイデンティティ（自分の性をどう思うか）や、性的指向（好きになるのが異性か、同性か、両性かなど）を指しています。多くの方は心と身体の性が一致しており、そして異性を好きになりますが、心と身体の性が一致していない人や同性や両性を好きになる人などセクシュアル・マイノリティと呼ばれる人々がいます。ジェンダー平等とセクシュアリティの人々の権利保障は関連しあっています。ジェンダーとセクシュアリティについての日本と世界の現状について学びあって、これからの社会の課題について考えます。

○受講条件：レポーターになったときは、担当部分をどのように読んだかレジュメを作成し発表して、ゼミでのディスカッションを推進する役割を担うこと。（ゼミは教室での対面を原則としますが、ZOOMを利用した遠隔で実施する場合があります）

## スペイン語とスペイン・ラテンアメリカの文化（青砥先生ゼミ）

○講師：青砥 清一（神田外語大学教授）

○募集定員：10～15名程度

○開催日時：第1, 第3土曜日 14:00-16:00（月2回 不定期） 4月開講日4月8日（土）、15日（土）14:00～16:00

○内容：前半の1時間はスペイン語の文法（初級～中級）を学びます。後半の1時間は、スペインとラテンアメリカの文化（歌、芸術、食文化など）について研究します。

○受講条件：面接授業「ベーシック・スペイン語1」を受講済みか、またはそれに相当するスペイン語力（直説法現在）を有すること。（ゼミは教室での対面を原則としますが、ZOOMを利用した遠隔で実施する場合があります。）

## 生活環境中のカビ（矢口先生ゼミ）

○講師：矢口 貴志（農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター 新技術開発部 研究リーダー）

○募集定員：10名程度

○開催日時：土曜または日曜日の午後、2-3時間

初回は令和5年4月23日（日）14:00～17:00

○内容：月1回、講義のあと討論するセミナー、残りの時間は、それぞれが自由に観察、実験など行う。現在、予定しているテーマは以下の通りである。

1. 真菌の分類体系
2. Aspergillus の分類
3. Penicillium の分類
4. 室内環境のカビ
5. 内臓真菌症原因菌
6. 皮膚真菌症原因菌
7. マイコトキシン
8. カビが産生する有用物質
9. 耐熱性カビ

○受講条件：実験室で培養実験等も予定していますので、これらの活動に参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。

## 和声の修得と新旧の様々な作曲技法の紹介（山本先生ゼミ）

○講師：山本純ノ介（千葉大学教育学部元教授）

○募集定員：**10名程度**

○開催日時：4/18. 25. 5/2, 9. 6/20. 27. 7/18. 25. いずれも火曜午後希望

○内容：それぞれの深度に合わせた和声を学びつつ、作曲の技法を知り、可能ならば実際に作曲を試みる。個人レッスン形式と授業形式の併用。  
4、6、7月に講義、レッスンなどを行う予定。5月は渡欧の予定があるので5月13日～31日までは授業はありません。  
5月の予定は未定。

○受講条件：自分で解答した和声や、制作した曲を弾いたりしますから、ある程度の読譜力、ピアノ演奏の素養（バイエル程度は経験していることが望ましい）が必要です。和声の以下の教科書を必ず用意してください。音楽之友社刊行の「総合和声・実技・分析・原理」（明るい黄色）を使います。さらに進度が進んだ方は個人に応じて教科書を指定します。和声の進捗状況はそれぞれの音楽経験により一定ではありません。

○その他：初歩的な曲の構造を知るために総合和声の後半、分析編を使用したり、プリントなどを用いて授業形式で紹介します。最終的にはカノンやインベンション、12音技法の作成方法を学び制作実践できるといいですね。